

持つか、持たないか・・・最後の1枚

この問いを最後に置いたのは、年間の維持費を数えられるようになった人だけが、きちんと答えられるからです。

この図解は「持たないほうがいい」と言うためのものではありません。あなたの条件で計算するための紙です。

まず、使う頻度で見当をつける

毎日

持つほうが安く、楽なことがほとんど

週に2～3回

使い方しだい。距離が短ければ持たない選択も現実的

週に1回程度

持たないほうが安くなることが多い

月に数回

持たないほうが安いことがほとんど

A 車を持つ場合（年額）

車両価格の年割（買った額－手放す見込み額）÷ 乗る年数	円
年間の維持費（図解 ¹⁶ の9項目の合計）	円
駐車場代（月額×12）	円
Aの合計	円／年
月あたり	円／月
持つことで得られるもの・・・行きたいときに行ける。深夜でも病院へ行ける。荷物を気にしなくていい。車内での家族の時間。これらは家計簿に載りませんが、確かに価値です。	

B 持たない場合（年額）

カーシェア（月会費＋1回あたり×回数×12）	円
レンタカー（1日あたり×年の日数）	円
タクシー・配車（雨の日、荷物の多い日）	円
公共交通の運賃（定期券を除く追加分）	円
自転車など（購入費の年割・維持）	円
Bの合計	円／年
月あたり	円／月

持たないことで得られるもの・・・駐車場を探さなくていい気楽さ。維持費のぶんを別のことに使える自由。運転しなくていい安心。どちらにも、失うものと得るものがあります。

地域で、答えは変わる

	都市部	公共交通の少ない地域
車の位置づけ	あると便利なもの	生活の前提
駐車場代	高い。年数十万円も	安い、または自宅の敷地内
代わりの手段	電車・バス・タクシー・カーシェア	限られる。本数も少ない
持たない選択	現実的	難しいことが多い

持たない選択を勧める記事の多くは、都市部の前提で書かれています。通院に、買い物に、仕事に車が要る場所では、車は贅沢品ではありません。あなたの生活の条件は、あなたにしか分かりません。

数字で決まらないものを、書き出す

車があることで、できるようになること（3つ）

車がないことで、楽になること（3つ）

いちばん大事な問いは「どの車を買うか」ではありません

どこへ行きたいかです。誰を乗せて、どこへ行って、何をしたいのか。それが決まれば、車は自然に決まります。決まらないなら、まだ選ぶ時期ではないのかもしれませんが。家も車も、それ自体が目的ではありません。道具にお金を払っているのではなく、その先にある生活にお金を払っているのです。いい1台に出会えますように。あるいは、車のない身軽な暮らしが、あなたに合っていますように。どちらを選んでも、自分で決めたのなら、それが正解です。